

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3891300059		
法人名	有限会社 スローライフ		
事業所名	まちなか		
所在地	四国中央市川之江町字馬場2083番4 (電話) 0896-56-4130		
管理者	高橋 俊道		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年6月16日	評価確定日	平成20年7月10日

【情報提供票より】 (平成20年5月30日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成19年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	6人, 非常勤 3人, 常勤換算 8.2人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	31,000円(1日あたり1,000円)	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有()円 (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円 (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年5月30日現在)			
利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名
要介護3	4 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.4 歳	最低 74 歳	最高 94 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者個々のこれまでの生活ベースを変えてしまうことのないよう、支援に配慮されている。又、入居後も時々自宅に戻り、家の換気を行う等、ご本人の不安なことを解決できるよう支援されている。

利用者ご自身のことは、ご本人にお聞きしながら支援されている。ご本人から得た情報は、毎日の申し送り時等で職員同士、伝達されている。

日々、利用者々と相談しながら食事の献立を決めておられ、食材を買いに出かけ、利用者とともに食事作りをされている。そのような取り組みを通じて話題もふくらみ、利用者職員のかかわりも増えている。

徒歩や車に乗って食材の買出しに出かけられたり、系列のデイサービスに出かけカラオケを楽しむ等、交流されている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・今回初めてサービス評価に取り組みました。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議では、出席いただいた方達に事業所の事を知っていただけるよう、利用状況を報告されている。又、お花見に適した場所を教えていただいたり、避難訓練の実施に向けての計画を伝えられた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の来訪時に、要望や意見を出していただけるよう働きかけておられる。ご家族が季節に応じてプランターにお花を植えて下さったり、野菜を持って来て下さることもある。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・近くにある乳児園の園児らが時に遊びに来てくれ、利用者と一緒に絵本を読んだり、一緒に過ごされる。又、利用者とともに外出することで、事業所を地域の方達に知っていただけるよう取り組まれている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 まちなか

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

高橋俊道

評価完了日

平成 20 年 5 月 30 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業理念に基づき、利用者が、利用者らしく生活できるような生活の継続を支援しているが、地域の中での生活と考えるとより明確・具体的な事業理念が必要と考える。		利用者と地域特性に応じた具体的な事業理念の検討を行っていくことが必要と考えている。
			(外部評価)		
			法人の理念に沿って、「尊厳を保持」「自立支援」を目指し取り組まれている。		地域性等も踏まえ、事業所が地域に根差すことを目指し、事業所の理念をさらに検討していきたいと考えておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員間での話しあいや会議の中で常に会社の理念に基づき判断、行動するように話し合っている。		職員は、朝の申送時等に事業理念の実践のための日々の具体的な行動目標を確認し合うように取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			法人代表者や管理者は、職員会議時等に事業所の理念について職員に話しておられる。又、日々のケアの中で理念に沿ってアドバイスをされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族の面会時や近所の方が来訪された場合は、事業所の理念や考えを話しかけるように心がけている。		より積極的に利用相談や運営推進会議等、外来者が訪問の際に地域の方へ事業理念の理解が得られるように働きかけていきたいと考えている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 事業所の前でお会いした方への挨拶や近所の店舗を積極的に利用することにより事業開始間近の事業所の認識を高める取組を行っている。		近隣への日常的に外出することにより、近隣の方との付き合いを深めていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 事業開始当初から町内会へ入会し、地域行事の情報収集に努めるとともに、参加する場合の助言や支援を地域の方に依頼している。 (外部評価) 近くにある乳児園の園児らが時に遊びに来てくれ、利用者と一緒に絵本を読んだり、一緒に過ごされる。又、利用者とともに外出することで、事業所を地域の方達に知っていただけるよう取り組まれている。		日常的に気軽に参加できるような体制づくりを行っていきたいと考えている。 さらに事業所では、利用者が地域行事に参加できるよう、地域との関係を深めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 認知症介護から体験したことや学んだことから入居申込時の家族に対して介護ストレスの緩和や相談・提案を行っている。		実現可能な具体的な取組を職員間で話し合い実践していきたいと考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 理念の実現のためには自己を点検することで自己覚知を行い、改善事項を修正していく重要性や、独善的にならないように第三者の意見を真摯に受けとめ改善していくことを基本に取り組んでいきたいと考えている。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。		関係者の意向や提案・GH事業所の相互評価等の情報交換の機会を増やし、事業運用に取り入れていきたい。 事業所のさらなる質の向上を目指し、運営推進会議やご家族への報告等、評価結果を活用した取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			開催前に事前にテーマを決め、報告や意見交換を行 い、参加者の助言や意見を事業運用の参考にしてい る。		地域の中で生活していくために多くの助言を頂いたの で、今後も継続的に実施できるように体制強化を行っ ていく。
			(外部評価)		
			会議では、出席いただいた方達に事業所の事を知って いただけるよう、利用状況を報告されている。又、お 花見に適した場所を教えていただいたり、避難訓練の 実施に向けての計画を伝えられた。		さらに、出席者それぞれの立場からご意見を引き出す ことができるよう、会議の進め方についても工夫を重 ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			介護保険上の手続き以外にも、保険者や市町村各課へ 出向き、利用者のケアや事業運用に参考になる情報の 収集を行い、利用者及び家族への情報提供を行っている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議には、地域包括支援センターの担当者が 出席され、介護保険について説明をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			左記のテーマの研修会等に積極的に参加し、基礎的な 知識を習得するとともに、必要な方の相談があった場 合は、該当する社会資源への紹介を行うようにしてい きたい。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			日常的に虐待は何かとの話し合いを行うとともに、人 権意識を高めるような職員間のコミュニケーションに 努め、対人援助者として、人としてのモラルを高める ような取組を行っている。		虐待防止の重要性についての意識が劣化しないように 定期的に学ぶ機会を確保していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、本人若しくは家族へ利用契約書等を事前に渡し、不明な点やわかりづらい点を事前に確認して頂き、契約締結時に十分な説明を行うように努めている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情や不満を表出しやすい関係構築に努め、利用者の意向を確認しやすい雰囲気づくりに努めている。		日常会話からの聞き取りやふれあい相談員からの情報交換からの提案を事業運営に反映していく。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族が面会に来訪されたときは、必ず近況を報告するように努めるとともに家族の意見や利用開始前の状況について助言を頂いている。		利用者ごとの生活状況のたよりの作成を今後、実施していきたいと考えている。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の日頃の様子を伝えられたり、必要時には電話でも連絡をされている。		さらに、今後、利用者個々の様子を伝える「たより」を定期的にご家族に送付することを考えておられる。食事のことや外出のこと等、それぞれのご家族が知り得たいことを探り、楽しみになるような「たより」作りをすすめていかれてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族が面会に来訪されたときは、必ず近況を報告するとともに、家族の感じたことや考え等の意見を伺っている。		家族会等、面会時以外に家族との意見交換を実施できる機会の検討を行っていく。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、要望や意見を出していただけるよう働きかけておられる。ご家族が季節に応じてプランターにお花を植えて下さったり、野菜を持って来て下さることもある。		今後、ご家族も交えた食事会等、ご家族が集まれるような機会を作っていきたいと考えておられる。今後、事業所では、さらに、ご家族との関係を深めていけるような取り組みをすすめていきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員間の日常会話時の何気ない思いつきや職員会、毎朝の申し送り時等の提案等を確認し検討している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の生活リズムに合わせて職員の勤務時間をシフト制の勤務体制にしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の発病により、やむなく離職者がある。職員の健康管理強化を行い、職員の離職を最小限に抑えている。		
			(外部評価) 管理者は、職員と話す機会を多く作るよう心がけておられ、業務上のつまづきはないか、聞き取っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部研修の実施と外部への研修会の参加促進を行い、職員間で情報交換を行っている。		内部研修については、事業開始1年を振り返り不足な点を年間計画化して実施していきたいと考えている。また、職員の業務上のつまづきや疑問点については、いつでも相談・確認できる体制の強化を図っていく。
			(外部評価) 事業所では、職員が研修に参加することを推進されている。職員は、在宅介護教室に参加されたり、県GH協議会の職員研修にも参加されている。又、日々のケアの中で管理者は、利用者への対応等についてアドバイスをされている。		今後、事業所では、職員が集まり話し合うような機会を増やしチームワークをさらに高め、認知症ケアの知識を深め、事業所の質の向上に向けて取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			市内のGHとの交流は、情報交換のみであり実施できていない。今後、交流する期間をもうけ、さらなる情報交換や先輩事業所の取組についての情報収集を行っていききたい。		市内のGHの連絡会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。
			(外部評価)		
			地域の他事業所に見学等に出かけておられる。		さらに今後、市内のグループホーム同士で意見交換を行えるよう、ネットワーク作りを進めていきたいと話しておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的な面接や勤務中等にも言葉かけを行い、ストレスの緩和に努めている。		ストレス緩和の環境づくりについては検討中である。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			介護技術の向上や資格取得への情報提供を行い、向上心を高めるように努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前の面接時から、本人の意向や不安を確認し、入居前に職員間で情報提供を行っている。		入居前の事前面接時や入居調整時に可能な限り参加促進を行い、早期に関係構築が確立できるような体制を図っていききたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用相談開始時期から、互いに話しやすい関係構築に留意し、意向や不安なことを確認し対応していくように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談開始時に本人や家族の主訴から課題分析を行い、適切な社会資源の選択提案ができるように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前の情報収集や利用予定者・家族の事前見学時の意向や提案等を取り入れ、入居時の環境変化の緩和に努めるとともに、既に入居している利用者との関係が円滑に確立できるように支援している。 (外部評価) 利用者個々のこれまでの生活ペースを変えてしまうことのないよう、支援に配慮されている。又、入居後も時々ご自宅に戻り、家の換気を行う等、ご本人の不安なことを解決できるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者ごとの生活歴や日常生活上のできること・できそうなことの観察・評価を行い、生活上での活躍の場面を提供するように努めている。 (外部評価) 職員は、利用者から料理を教えていただいたり、野菜の育て方を学んでおられる。又、戦争体験のお話を聞かせていただいたりもする。		さらに、日常生活を利用者とともにいき、一瞬、一瞬の喜怒哀楽を大切にしていきたいと考えている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族も事業所の利用者として捉え、利用者を一番理解し、理解しようとしているのは、家族であることを常に認識し、家族とのさりげない会話の中から意見や助言を引き出し、一緒に支援内容を検討していくように努めている。		家族が気軽に参加できる行事等・日課について、今後、検討していきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) これまでの利用者と家族との経緯に配慮し、利用開始後の可能性を家族とともに考え、よりよい関係が継続できるように努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入居前の馴染みのもの（生活上の社会資源を含む）を継続的に活用・使用するよう努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者間が自然に相互援助できるように、職員は、日常の支援の中にさりげなく利用者間関係調整を行うように配慮している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 介護保険施設等へ退所した利用者のもとへ利用者とともに面会をしたりして、環境変化に対する不安の軽減や関係の継続性を支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者ごとに聞き取りを行ったり、必要に応じて家族から助言を頂いたりして、利用者ごとの意向の把握に努めている。		
			(外部評価)		
			利用者ご自身のことは、ご本人にお聞きしながら支援されている。ご本人から得た情報は、毎日の申し送り時等で職員同士、伝達されている。		さらに、利用者から得た情報を蓄積していくような取り組みが期待される。又、そのような情報を介護計画につなげていきたいと話しておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居前に家族にアセスメントシートの記入を依頼し、左記の情報の把握を行っている、また、利用者の日常会話の中から把握できた情報を職員間で共有するように努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			定期的にあセスメントを行い、現状を総合的に把握するように努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の立案は職員間で意見交換を行い、さまざまな意見や本人、家族からの助言から立案している。		
			(外部評価)		
			現在は、利用者の思いを汲み取り、職員の意見も聞きながら管理者が介護計画を作成されている。		さらに今後、利用者それぞれに担当職員を配置し、介護計画作成に取り組みたいと考えておられる。日々利用者にかかわる職員の気付きや、ご家族の希望等を十分に採り入れた計画作りが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			定期的に見直しを行うことはもちろんのこと、状態変化時や新たな課題事項が発生した場合は、その都度、検討するように努めている。		利用者の意向や状態変化に応じ、評価及び立案時期を1ヶ月単位ぐらいに短縮したいと考えている。
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月毎に見直しをされている。又、退院時には、医療機関のアドバイスを採り入れ計画を見直しておられ、又、状態が不安定な時等にも見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日誌に気づきを記入する欄を設け、記録化するとともに、職員間の情報共有を行い、計画立案時に反映されるように努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者や家族の状況に応じて柔軟な対応を行っている。		
			(外部評価)		
			入院された利用者をお見舞いされたり、近所の美容室を利用できるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の社会資源との協働は今後の課題と考えている。		地域資源の調査・協働について検討中である。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	左記の状況に対応するため、近隣、居宅介護支援事業所の介護支援専門員との関係構築を確立していくように努めている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加して頂き、状況に応じて協働できるような体制づくりに努めている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している (外部評価)	利用者及び家族の意向を尊重し、医療が受けられるように支援している。必要に応じ受診時の情報交換の中から支援上の留意事項についての助言を頂いている。 利用者それぞれが、これまでのかかりつけ医を続けて受診できるよう支援されている。ご家族が受診の付き添いをされており、ご都合に合わせて職員が付き添われることもある。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師への診察が受けられるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 利用者の入居前を知っている看護職員等から、利用者の過去の健康状態を収集し、日々の健康管理上の参考にしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) やむなく入院した場合は、サマリー等で情報提供を行い、入院時、医療と適切なケアが受けられるように支援している。通院で可能な医療については、早期に退院し対応していくように、担当医及び家族と協議を行い決定している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合や状態が変化した場合は、早期に本人、家族、関係者との協議を行い、今後の方針について共有・支援していくように考えている。 (外部評価) 利用契約時、医療行為が必要になった場合は退居となる場合もあることを伝えておられる。		さらに事業所では、重度化や看取りにも対応していきたいと考えておられる。職員の介護技術の向上等、勉強を重ね、利用者、ご家族の要望に応じられるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化した場合、当事業所の機能を見極め、専門機関ごとに役割分担を調整しチームで支援していけるように考えている。		マニュアル化及び体制・整備を行っていく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 環境の変化に対するダメージを回避するため、利用者及び利用者が一番理解している関係者から助言を提供していただき、物理的な環境整備、慣習の対応準備を行い、住み替えによりダメージを防止するように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員は、利用者に対し言葉かけの表現には、留意するように職員間で話し合っている。個人情報については、保護について慎重な取扱いを行っている。		プライバシーを損ねる言葉かけや対応については、配慮すべき点について、職員会等で確認・徹底していきたい。
			(外部評価) 職員は、利用者によさしい口調で接しておられた。		さらに、管理者は利用者への対応について、待つこと、思いを引き出すことの大切さを感じておられる。今後も利用者個々の「安心できる生活」を目指し、取り組んでいかれることが期待される。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用ごとに理解しやすい問いかけや選択肢の提案を行い、なるべく自己決定ができるような支援に心がけている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の生活については、細かい日課を決定せず、利用者ごとの生活リズムやスタイルを尊重するような支援を行っている。		
			(外部評価) お部屋で過ごされる方や皆でおしゃべりをして過ごされる方等、それぞれが思い思いに過ごされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 左記の対応を支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立の決定は、利用者ごとの意向を参考にして決定してる。味付けや盛り付けについては、食事中及び食事後の方付け時にさりげなく感想を確認している。 (外部評価) 日々、利用者と相談しながら食事の献立を決めておられ、食材を買いに出かけ、利用者とともに食事作りをされている。そのような取り組みを通じて話題もふくらみ、利用者との関係も増えている。		さらに、時に、量や味付け等、ご家族からも食事についてご意見をいただくような機会を設けてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の意向や入居前の生活状態を家族等から伺い、利用者ごとの嗜好の支援を行っている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄の失敗からくるダメージを回避するために排泄記録表を使用し、兆候やパターンの把握に努め、失敗を回避するように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴の頻度、時間については、利用者の意向に合わせた対応を行っている。		
			(外部評価)		
			夕方に入浴される方もおられる。時に系列のデイサービスの大浴場で入浴される方もおられる。入浴を嫌がられる方には無理強いすることなく、声かけを工夫し入浴をすすめておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者ごとの体調や習慣に応じた休憩を支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			家族に記入して頂いた生活歴を参考に左記について働きかけを行い支援している。		利用者の表情や喜怒哀楽を確認しながら、さらなる取組を行っていきたい。
			(外部評価)		
			プランターで野菜を育てられたり、居室のテレビでドラマを見ることを楽しみにされている方もおられた。読書をされたり、買い物やドライブ等で気分転換ができるよう支援されている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			外出時、利用者ごとの力に合わせて買物の支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			事業者内の生活に簡潔するのではなく、ストレスの緩和や外部の娯楽等に対応するため積極的に外出するように努めている。		地域の中で安全・気軽に外出できるように地域資源の体制整備を行っていききたい。
			(外部評価)		
			徒歩や車に乗って食材の買出しに出かけられたり、病院の受診、系列のデイサービスに出かけカラオケを楽しむ等、交流されている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出については、近隣のみである。		今後、対応していききたい項目と考えている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者ごとの意向に合わせた対応を行っている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問、面会可能時刻に取り決めはなく、自由に訪問して頂くようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全体で身体拘束についての理解を深め、身体拘束をしないケアを大切にしている。		身体拘束をしないケアの重要性について、意識が劣化しないように定期的に学ぶ機会を確保していく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、玄関は常に開放されている。利用者は自由に戸外へ出られることを認識できるように支援している。利用者ごとの対応を職員間で共有することにより、無断外出等の事故発生防止に対応している。 (外部評価) 利用者は皆さん、日中、玄関が解放されていることを知っておられ、自由に出入りをされている。又、プリンターの野菜や花等をきっかけにして、外に出る機会を作っておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 事業所の環境特性上、利用者にストレスを感じさせないように見守りができるようになっている。職員は利用者の所在を常に把握できるように連携に努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者ごとに注意の必要な物品に関して、職員間で共有し危険度の管理区分を行っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者ごと個別に予測される事故についての評価検討を行い、事故発生防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルを整備している。応急手当や初期対応の訓練については、まだまだ、スキルアップが必要と感じている。		スキルアップの研修を事業所内外で実施していきたいと考えている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 近隣の避難場所を職員が把握している。近隣の協力については、運営推進会議等で協力意識の維持継続を働きかけている。 (外部評価) 利用者との買い物の際に乾パンを購入し、災害時に備えて蓄えておられる。運営推進会議では、避難訓練実施時、地域の方に参加いただけるよう呼びかけられた。		消防・地域の人々との合同避難訓練を継続的に実施していきたい。 災害時等、いざという時、すべての利用者が安全に避難できるよう、事業所でも訓練を重ねていかれることが期待される。利用者、ご家族、職員の安全・安心のためにも取り組みをすすめていかれてほしい。又、そのような取り組みを地域やご家族にも伝えていかれてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族面会時等の近況の情報提供時に予測されるリスクについて情報提供を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 既往歴及び現病から予測される異変を共有し、状態変化時は、早期に医療機関への受診をするような対応を行っている。		体調変化や異変の早期発見についての兆候観察項目について、研修等を行いスキルアップをはかっていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者の薬剤については、個別のファイルを設け、左記の情報について、いつでも確認できるように保管している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄記録表から排便状態の観察を行い、水分補給の強化や適度な運動、薬剤に依存しないような食品の提供を心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 職員は、口腔ケアの重要性を理解し、利用者個別に口腔内の清潔を維持するように対応している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 左記の情報については、独自の状態把握が可能な様式を使用し、利用者ごとの状態に応じた対応を行っている。 (外部評価) 体重の増減をみながら食事支援されている。職員は、食事作りの際、偏りのないよう気を付けておられる。又、水分の取りにくい方には、職員が「一緒に飲みましょう」と声をかけておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対するマニュアルを整備、発生時は適切な対応ができる体制づくりに努めている。		感染予防についての定期的な研修を実施し、適切な対応及び徹底した感染予防を実践できるように取組を行っていききたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理用具については、消毒日を決定し、衛生管理を行っている。食材については、なるべく買い置きをしないようにして早期に使用するように心がけている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関まわりは、階段とスロープを設置し安心して出入りができるような工夫をしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共用の空間には、利用者にとって家庭的で過ごしやすい環境になるようカーテンでの光の調整や観葉植物の活用にて、家庭的で居心地よい環境の整備に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>観葉植物のみどりを配し、水槽で金魚を飼っておられる。</p>		<p>さらに、トイレ等、共用空間のしつらえについて、今後も利用者のアイデア等もうかがいながら、工夫を重ねていかれることが期待される。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>広い事業所ではないため、ひとりになれる共用空間はないが、利用者ごとに空間の使い分けを行っている様子である。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居前の利用調整時に家族に依頼し、なるべく本人の使い慣れた馴染みの物品を持ち込むように依頼している。		持ち込み品の少ない利用者もいるが、継続的に家族に働きかけたり、諸事情に応じた個別の対応を検討していきたい。
			(外部評価)		
			ご家族の協力を得て、居室でもくつろいで過ごせるようテレビを持ち込み、じゅうたんを引いておられる居室もうかがえた。		また、利用者とも相談しながら、事業所でも居室のしつらえについて工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気や空調は、利用者の状態や利用者の体感を確認しながら、こまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			居室内のレイアウトは利用者の意向を確認しながら安全かつ活動的に生活がおくれるように工夫している。共用空間についても利用者それぞれの生活動線に応じて工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			空間的な混乱を防止するための表示や表記は、わかりやすく最小限の表示に心がけ、工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の周辺は、季節に応じてた野菜や花を植え、世話をすることの役割や楽しさを体感できるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが	職員は完全に掴みきれていないのではないかと、利用者にも遠慮があるのではないかと職員側の未熟さを感じ反省している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある	食事やおやつ等の時間は比較的ゆったりしているのではないと思われる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが	利用者がそれぞれ思い思いに暮らしているのではないかとと思われる。支援・介助量の多い利用者については本人さんのペースが本当に尊重されているのかと考えている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	日常生活内の断片ではあるが、生き生きとした表情が見られることある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが	外出意向の対応については、ごく決まった利用者のみではないかと反省している。今後支援の拡大を図っていきたいと考えている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	健康管理や受診意向については、家族へ確認後、柔軟に対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	要望については可能なかぎり柔軟に対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ③ 家族の1/3くらいと	家族の困っていることや不安に感じていること、要望等をよく聞き取るように配慮しているが、家族にも遠慮があるのではないかと感じることが多い。信頼関係の再構築が課題と考えている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度	利用者の家族や友人・知人の面会はあるが、地域の人々の訪問は少なく、まだまだ、地域に知られていないのではないかと感じている。

